

令和３年度病床機能再編支援事業を活用予定の医療機関（仙台区域）の事業計画（案）について

（１）単独支援給付金支給事業

医療機関名	診療科	病床稼働率	病床区分	病床削減前の 許可病床数	病床削減前の 休床病床数	病床削減前の 稼働病床数 (A)	事業対象となる 削減病床数 (B)	病床削減後の 許可病床数 (A)－(B)	病床削減に係る方針・考え方
医療法人美之会 庄子内科クリニ ック	人工透析内科 腎臓内科 心療内科 精神科	48.1%	高度急性期	0	0	0	0	0	少子高齢化が進む中、当院も透析患者の高齢化が例外ではなく、容態変化に対応できる入院設備を必要としていたため、当初、有床診療所のまま移転を計画していましたが、急性期病床が過剰となっている仙台区域のベッド数を削減して、地域医療構想に貢献したいと考え、新たな移転計画は、無床化、ダウンサイジングをして、外来透析医療に限られた資源を投入し、透析コンソールを３６台から４７台に増台することで、質の高い医療提供体制を構築できると判断しました。 さらに、現在５名の在宅透析患者がいますが、今後、ニーズの拡大に応えるべく専用部屋の設備も整え、地域医療に貢献していきたいと思います。また、関連学会等の参加体制を整備し、教育環境改善を図り、看護師等の確保、養成に努めています。 令和３年１１月１日より病床１９床を削減し、無床診療所として移転開業しますが、医療の質を維持しながら地域医療構想の実現が可能と考えます。
			急性期	19	0	19	▲19	0	
			慢性期	0	0	0	0	0	
			計	19	0	19	▲19	0	
			回復期（参考）	0	0	0	0	0	
			合計（参考）	19	0	19	▲19	0	
医療法人社団 大和クリニック	内科 消化器内科 整形外科	31.3%	高度急性期	0	0	0	0	0	当院は、許可病床数１９床の有床診療所です（一般病床１３床、医療療養病床６床）。今後の高齢者の増加、出生率の低下などによる医療需要の変化を考慮すると病床削減は早急に取り組む必要があると判断しました。そのため、19床を令和３年度中に無床にすることで少しでも協力したいと思います。 なお、外来診療はこれまで通り続けていく方針です。
			急性期	19	6	13	▲13	0	
			慢性期	0	0	0	0	0	
			計	19	6	13	▲13	0	
			回復期（参考）	0	0	0	0	0	
			合計（参考）	19	6	13	▲13	0	

（２）統合支援給付金支給事業

該当医療機関なし

（３）債務整理支援給付金支給事業

該当医療機関なし